

INTERVIEW

あなたの **夢** は？



齊藤あゆみさん(坂)
「ヘアメイクもできる
着付師」



遠藤 亮さん(高根)
「コンピューターで
仕事場を管理する
ネットワーク技術士」



小川瑛莉香さん(染井)
「小学生からの夢だった
管理栄養士」



平山一至さん(方田)
「警察官、
そして白バイ隊員」



萩原千陽さん(小島)
「子どもの長所を
みつけられる保育士」



野老瑞貴さん(本町)
「一人前になって
親に恩返しをしたい」

木川達貴さん(小島)

「社会人になりお金を稼ぐことと、人間関係の大変さを知ったが、苦労の中にやりがいも。勤めながら多古米づくりも受け継いでいきたい」

柴田祐貴さん(南中・宿)

「一人暮らしの心の支えは、家族とふるさと多古町の風景。自分に責任を持てるのが大人。その覚悟を胸に、納得のいく生き方をしていきたい」

浅野友希さん(十余三)

「今日は新たなスタート。成人として日々成長し、公務員試験に向け頑張り、支えてくれた両親を幸せにしたい」



飯田千晶さん(南並木)

「県民の安全を守る警察官として犯罪の抑止に努め、被害に遭った人々の心を和らげたい。そしていつの日か白バイ隊員に!!」

「20歳の
ことば」

菅澤由紀さん(高津原)

「夢は平面のデザインを立体にする型紙をおこすパターンナー。服づくりを通して、社会に貢献していきたい」



●2009成人式実行委員の皆さん●
(左から) 菅澤由紀さん、鈴木勝博さん、飯田智昭さん、久保聡史さん、勝又蓉司さん

平成21年

成人式

1月11日、コミュニティプラザ文化ホールで成人式が行われ、新成人230人のうち182人が出席、新たな門出を迎えました。

編集後記

★晴天に恵まれた1月11日、多古町でも成人式が行われました。スーツや色鮮やかな振り袖などに身を包んだ新成人が、旧友と笑顔で記念撮影する光景が印象に残りました★幼い頃の顔しか覚えていない親せきの子や近所の子の姿も見られ、また今年「平成生まれ」の新成人が初めて誕生するなど、時代の流れを強く感じました★インタビューや代表者5人による、20歳のことは「おめでとう」と「ありがと」の言葉を送りたいと思います。

★今年の新成人は230人。わたしは成人を迎えた昭和63年は263人でした。では、20年後はどうでしょう？ 昨年5月1日現在の0歳児は、なんと90人!! 同じ20年の歳月で100人以上減って今年の半分以下に!! 少子化が加速していることを痛感します★印象に残るのは『20歳のことは』。学生・社会人の立場からそれぞれが素直な気持ちを語ってくれました。中でも着物に負けない洋服をコンセプトに自らデザイン・制作した洋服で式に臨んだ菅澤さん。「わたしたちの手で明るい未来をつくりましょう」の言葉に、希望を感じました★成人式の取材も今年で3回目。育ててくれた親への感謝、そして成長していく子どもへの想いをしみじみとかみしめたひと時でした。